

「町営住宅入居時の連帯保証人について」

「確保が困難な場合は個別相談を」

黒木 正建 議員



問 本人が高齢で、親戚知人も少なく、保証人側にも諸条件があり、一層保証人の確保がむずかしい状況である。この現状をどのように捉えているか伺う。

建設管理課長 条例上、保証人あり、一斉に保証人をなくす事はできない。各世帯の諸事情の内容によっては個別相談の結果、保証人なしでも入居できる体制を取るのか伺う。

場合もある。

問 蚊口浜墓地内の墓所設置手続は、台帳において希望する場所が空き区画であるかの確認を行い、「墓地を守る会」の会長立ち合いのもと現地で建立場所等の決定を行う。問題がなければ、土地の借受け申請書と会長の同意書等を提出した後、役場から使用許可書を交付し、工事着手建立担当職員の現地確認という流れになっている。

町長 台帳において希望する場所が空き区画であるかの確認を行い、「墓地を守る会」の会長立ち合いのもと現地で建立場所等の決定を行う。問題がなければ、土地の借受け申請書と会長の同意書等を提出した後、役場から使用許可書を交付し、工事着手建立担当職員の現地確認という流れになっている。

建設管理課長 2名の規定があり、一斉に保証人をなくす事はできない。各世帯の諸事情の内容によっては個別相談の結果、保証人なしでも入居できる体制を取るのか伺う。

現況である。屋根の増設はできないか伺う。

町長 駐輪は300台が可能となっており、現在の駐輪スペースは不足している状況ではない。屋根の増設はやらずに整頓して並べるよう啓発する。

問 今年度の定期券の申し込み件数を伺う。

建設管理課長 自転車318台、バイク14台、300台以上である。

意見 ①料金を徴収する以上、行政の手厚い思いやり精神をもって風雨対策をやるべきでは。②関係機関との連携を密にすべきでは。③朝のラッシュ時の現場の状況を視察して啓発活動に生かす

問 高鍋駅前輪場の雨対策について

べきでは。④バイクの専用スペースが広いのではないか。

※斜面崩壊の危険防止について高鍋温泉前の県道24号線の工事は無事完了いたしました。※萩原の高鍋石油東側に隣接する大型水銀灯整備については、県有



「雨にさらされる駐輪場の自転車群」

「新型コロナウイルスの今後の取り組みは」

「感染防止のため、基本的対策を行う」

春成 勇 議員



問 高鍋町の今後の新型コロナウイルスの感染防止の取り組みは。

町長 感染症防止のため、三密を避ける基本的対策や、事業者向けに支援事業を実施する。

問 新しい生活様式の実施の具体的な対策は。

健康保険課長 感染が流行している地域への往来は避ける。また日常生活に各場面にお

いて基本的な感染対策を行っていただきたい。

問 飲食店街の家賃や宿泊施設の対応は。

地域政策課長 家賃を含む事業者の事業継続を支え、また大きな影響を受けた宿泊施設等は、一部要件の緩和の対応を行っている。

問 町内で感染防止を図るため体温を測るサーモグラフィはあるのか。

健康保険課長 サーマグラフィは無い。なお非接触体温計は、家庭によっては所有しているかと推測している。

問 避難所体育館での飛沫感染を防ぐために、段ボールのベッドが必要と思われるが対応は。

建設管理課長 今後は、民間と公共の区別なく指導していく。

問 鳴野浜に行く踏切手前の舗装が下がっているが対応は。

建設管理課長 道路の陥没し補修を進めていく。



「道路改良が待たれる樋渡(1)線」

段ボール等の間仕切については今後検討する。

問 口蹄疫が発生して10年目になるが取り組みは。

町長 口蹄疫が再び発生しないよう、防疫対策の強化に取り組む。

問 口蹄疫が発生した時の埋却地の確認はできているのか。

農業政策課長 生産農家はしっかりと埋却地を確保している。

問 口蹄疫が発生した時の対応は。

農業政策課長 県主催の防疫研修に参加し、有事における迅速かつ確実な対応ができるよう努めている。

「わかば保育園施設改修の方針と進捗状況は」

『大規模改修案を決定し、今年度実施設計作成』

田中 義基 議員



問 町内唯一の公立保育園であるわかば保育園の今後の運営はどのように。

町長 町内保育施設の中核的存在として、子育て家庭や障害児への支援を含む、幼児教育の実践及び研究の場としての役割を果たせるよう、施設改修等を併せながら、具

体的な取り組みについて検討していく。

問 公立保育園あり方検討委員会からの答申には、公立で存続運営する場合の要望や期待の記述がある。その中のリーダーシップを持った力量と対応は、どう培うのか。

町長 保育士としてのスキル、経験・体験によって培われる能力が必要で人材育成は重要。また子育て関係機関との連携や調整能力が求められ、公的な機関・施設等とのスピード感ある連携も必要。そのためにも職員の実践的な研修が欠かせない。

問 専門的な人材の確保や育成、計画的な配置について、人材不足は生じないか。

福祉課長 わかば保育園には、民間保育所等への助言・指導や調整能力が求められるが、必要な職員の配置については状況に応じて適切な人材確保を行っていく必要がある。

問 前述の答申にもあるが、わかばに子育て支援センターを併設できないか。

福祉課長 場所や人材等の要件を満たし、また関係機関等とも慎重に検討した上でこのことになると思う。

計にあたっては、子育て支援センター併設が可能となるような改修設計が望まれると思う。

福祉課長 改修にあたり、併設も一つの選択肢と考慮し、慎重に協議を進めていきたい。

意見 5歳までの子どもを持つ親で、社会的な不利を抱えて疲弊され、サービスタにつなげる力すらも残っていない家庭が存在します。ぜひ高鍋町では、そんな家庭を絶対に取り残してしまわないようにすべきです。その対応の一つとして、子育て支援センターをわかば保育園に併設し

てほしいと切に希望いたします。

施設方針にあるSDGs、これのローガンが「誰一人取り残さない」です。これを踏まえて、この支援センターの併設、慎重にしっかりと協議を進めて頂きたい。



「改修がまたれるわかば保育園」